



<p>(16)市町村や民間等との役割分担に関する事項</p>	<p>市町村・国の類似施設の有無 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無  民間・NPO等の類似施設の有無 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無  ※有の場合、県の施設と当該施設の機能等の相違を記載</p> <p>①県内の市町村においては、千葉市(京葉学園地域)や船橋市(東葛飾学園地域)で高齢者向けの大学が設置されており、ボランティア活動等について学べるコースも設置されている。しかし、地域活動の中でも健康と福祉に特化した内容であることや、地域での実践(体験)時間が少ないこと、募集人員が少ないことなど、生涯大学校とは体系が異なる点がある。</p> <p>②市町村における高齢者向けの講座については、全般的に教養や趣味、健康づくり等を対象にした講座が多く、地域活動を取り上げた講座は、まだまだ浸透していないといえる。また、地域別に見た場合、京葉や東葛飾学園地域では過半数の市町村において開講しているが、東総、外房、南房学園の各地域では、開講は少なく、さらに、生涯大学校のように毎週開講している市町村は少数という状況である。</p> <p>③介護保険事業における総合事業(生活支援)の担い手等に、生涯大学校卒業生を活用したいとの市町村が出てきており(H27.5現在 銚子市・館山市)、今後も増えていく見通しである。</p> <p>※広域利用に関する実態を記載</p>
<p>※県直営施設のみ (17)運営形態に関する事項</p>	<p>指定管理者制度の導入について <input type="checkbox"/>可能性あり <input type="checkbox"/>不可  ※不可の場合、その理由(県直営でなければならない理由)を記載</p> <p>地方独立行政法人化について <input type="checkbox"/>可能性あり <input type="checkbox"/>不可  ※不可の場合、その理由(県直営でなければならない理由)を記載</p>
<p>(18)他都道府県の状況</p>	<p>※他自治体(近県)における類似施設の設置状況、運営形態等を記載  埼 玉 県:彩の国いきがい大学((公財)いきいき埼玉)  (彩の国生きがい大学の内訳:一年制6学園、一年制専攻コース2学園、二年生4学園)  栃 木 県:(福)とちぎ健康福祉協会(委託)、シルバー大学校3学園  東 京 都:該当なし  神奈川県:該当なし  群 馬 県:該当なし  茨 城 県:該当なし</p> <p>※関東近県以外では、兵庫県、石川県、鳥取県、島根県、広島県、徳島県、愛媛県、長崎県、熊本県、沖縄県にそれぞれ設置されている。</p>
<p>(19)課題</p>	<p>※大規模修繕等の必要性等ハード面  京葉学園においては、設置後約35年を経過しており、老朽化の問題が生じている。</p> <p>※利用実績の低下等ソフト面  募集人員に対し、入学者数の減少がみられる。</p>
<p>(20)改善方針・経緯</p>	<p>※上記についてハード面の改善方針及び現在までの取組を記載  必要に応じ対応している。平成27年度に、京葉学園において耐震診断工事及びトイレの全面改修工事を実施。今後、必要に応じて適宜実施予定。</p> <p>※上記についてソフト面の改善方針及び現在までの取組を記載(集客努力、サービス向上への取組など)  平成25年から入学可能年齢を55歳に引き下げ、また、入学者の減少対策等として、平成28年度から3年間の次期指定管理者の募集に際し、地域活動学部及び地域活動専攻科のカリキュラムの見直し等を図り、公募した。  今後、入学者数の増加に向け、更なる広報の充実とともに、地域や学生のニーズを踏まえたカリキュラムづくりに努め、魅力ある学園となるよう取り組んでいく。</p>
<p>(21)県の関与等の必要性</p>	<p>市町村・民間移譲の可能性 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無  ※上記の理由を記載</p> <p>統廃合の可能性 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無  ※上記の理由を記載  マスタープランの計画期間が平成28年度までとなるため、平成27年度中に、その実施状況や効果を検証し、平成28年度に、平成29年度以降の学園の運営方法等を検討することとする。</p>

(22)公の施設の見直し方針	<p>※平成24年3月に策定した公の施設の見直し方針の内容</p> <p>【施設内容検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉審議会の答申等を踏まえ、社会環境の変化や県民ニーズに適合するよう、修業年限の短縮、定員適正化、課程・カリキュラムの見直し等を行う(新制度の生涯大学校開校は平成25年4月を予定)。</li> <li>・中長期的には、県内各域の地域事情を踏まえた上で、段階的に縮小する方向で見直しを進める。</li> </ul>
(23)見直し方針の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①平成23年度末マスタープランを策定</li> <li>②マスタープランの策定を受けて平成24年度に条例改正を行った。</li> <li>③マスタープランに基づき平成25年度から、新制度の生涯大学校として運営をしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・修業年数の短縮</li> <li>・定員の適正化</li> <li>・課程・カリキュラムの見直し</li> <li>・地域活動専攻科の新設</li> <li>・コーディネーターの配置</li> </ul> </li> <li>④入学者の減少対策等として、平成28年度から3年間の次期指定管理者の募集に際し、校内演習や校外実習を充実させるなど、地域活動学部及び地域活動専攻科のカリキュラムの見直し等を図り、公募するとともに、入学者の募集にあたっては全学園でのオープンキャンパスの実施や入学案内の工夫などを新たに行うなど、広報に力を入れた。</li> </ul>
(24)新見直し方針(案)	<p>【施設内容検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動学部・専攻科の設置等、課程・カリキュラムの見直し等に伴う効果について検証を行い、効率的・効果的な運営を図る。</li> <li>・中長期的には、高齢者を取り巻く環境の変化や地域の状況を踏まえ、段階的に縮小する方向で見直しを進める。</li> </ul>

## 各学園概況一覽表

学園名	施設所在地	設置年月日	面積(m <sup>2</sup> )		
			建築面積	延床面積	敷地面積
京葉学園	千葉市中央区仁戸名町 666-2	昭和54年2月1日 (竣工日:①校舎S53 ②園芸科実習室 S58 ③陶芸科教室 S62)	①927.80 ②233.28 ③268.42	①1401.70 ②233.28 ③258.04	7720.89
東葛飾 学園	①松戸市中矢切492 ②流山市美原1-158-2	昭和54年2月1日 (竣工日①浅間台校舎 園芸科教室 S61 ②江戸川台校舎 S62)	①130.32 ②428.75	①31.00 ②833.75	①1,771.00 ②815.83
東総学園	①銚子市台町2203 ②香取郡神崎町神崎神宿 54	昭和54年2月1日 (竣工日①a校舎 H6 ①b陶芸科教室 H2 ②園芸科教室 H2)	①a 479.54 ①b 275.24 ②204.81	①a 833.35 ①b 251.02 ②256.00	①3,451.06 ②2,064.17
外房学園	①茂原市本小轡319-1 ②勝浦市串浜836-1	昭和54年2月1日 (竣工日①a校舎 H10 ①b陶芸科教室 H元 ②園芸科教室 H2)	①a823.50 ①b271.99 ②204.81	①a799.80 ①b251.02 ②256.00	①3,871.44 ②2,150.00
南房学園	①館山市北条838 ②木更津市潮見2-13-1 ③館山市湊403-2	昭和54年2月1日 (竣工日①校舎 H9 ②園芸科教室 S63 ③陶芸家教室 S63)	①875.19 ②193.18 ③275.80	①803.25 ②296.35 ③251.02	①3,683.51 ②1,397.09 ③631.52